

令和 8年度予算見積調書

課室名: 生産振興課

担当名: 主穀担当

内線: 4138

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
P66	水稻高温耐性品種の生産振興対策事業	一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	米麦産地育成対策費
事業期間	令和 7年度～ 令和 9年度	根拠法	なし	針路分野施策	121202 儲かる農林業の推進 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール2, 13 SDGsターゲット2-4, 13-1
1 事業概要	高温に対応した安定生産技術の確立・普及、及び販売力の向上を行い、水稻高温耐性新品種「えみほころ」の速やかな導入を図る。					
	ア 高温に対応した安定生産技術の確立・普及 イ 高温耐性品種の販売対策	5,881千円 14,600千円				
2 事業主体及び負担区分	ア (県10/10) イ (県10/10)					
3 地方財政措置の状況	なし					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.8人=7,600千円					
5 事業説明						
(1) 事業内容						
ア 高温に対応した安定生産技術の確立・普及 5,881千円 高温対策を組み込んだ水稻高温耐性品種「えみほころ」の栽培マニュアルの策定、栽培実証ほの設置による安定生産技術の実証、省力施肥体系の確立を行う。						
イ 高温耐性品種の販売対策 14,600千円 量販店等における販売促進活動、SNS等を活用した消費者向けのPR活動を実施する。						
(2) 事業計画						
ア 高温対策を組み込んだ栽培マニュアルの策定 栽培マニュアルに基づいた実証ほの設置 県内8か所						
イ 量販店等における販売キャンペーンやメディア等を活用したPR等の実施 SNS媒体での情報発信 月1回以上						
(3) 事業効果						
水稻高温耐性品種「えみほころ」の作付が拡大し、水稻生産者の経営安定化が図られるとともに、県民に高品質な県産米が安定的に供給される。						
【活動指標(アウトプット)】栽培マニュアルに基づいた栽培実証ほの設置8か所、 栽培講習会や現地検討会の開催8回、 量販店等における販売キャンペーンやメディア等を活用したPR等の実施 SNS媒体での情報発信 月1回以上						
【成果指標(アウトカム)】「えみほころ」の作付面積 令和9年度末:2,000ha以上(令和6年度末:30ha) 県育成品種3等米・規格外米の割合 令和9年度末:0.8%(令和6年度末:22.6%) 「えみほころ」の取扱店舗 令和9年度末110店舗以上(令和6年度末:0店舗)						
(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携 JA等農業団体との連携						

予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との対比
決定額	20,481						20,481	4,500
前年額	15,981						15,981	

事業内訳書

事業名	水稻高温耐性品種の生産振興対策事業		
単位事業名	高温に対応した安定生産技術の確立・普及	予算額	5,881千円

○歳入

(単位:千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	5,881	0	
合計	5,881	0	

○歳出

(単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	358	8	ほ場調査
需用費	3,878	△1,247	消耗品、栽培試験用資材、展示ほ用資材
役務費	424	18	サンプル送料、食味官能試験手数料
備品購入費	1,221	1,221	恒温機2台
合計	5,881	0	

単位事業名	高温耐性品種の販売対策	予算額	14,600千円
-------	-------------	-----	----------

○歳入			
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	14,600	14,600	
合計	14,600	14,600	

○歳出			
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	72	72	委託先企業との打合せ
需用費	850	850	消耗品、PR用啓発資材
役務費	68	68	PR用資材送料
委託料	13,600	13,600	県産米販売促進活動業務委託 5,000千円 県産米プロモーション活動業務委託 8,600千円
使用料及び賃借料	10	10	会場使用料
合計	14,600	14,600	